

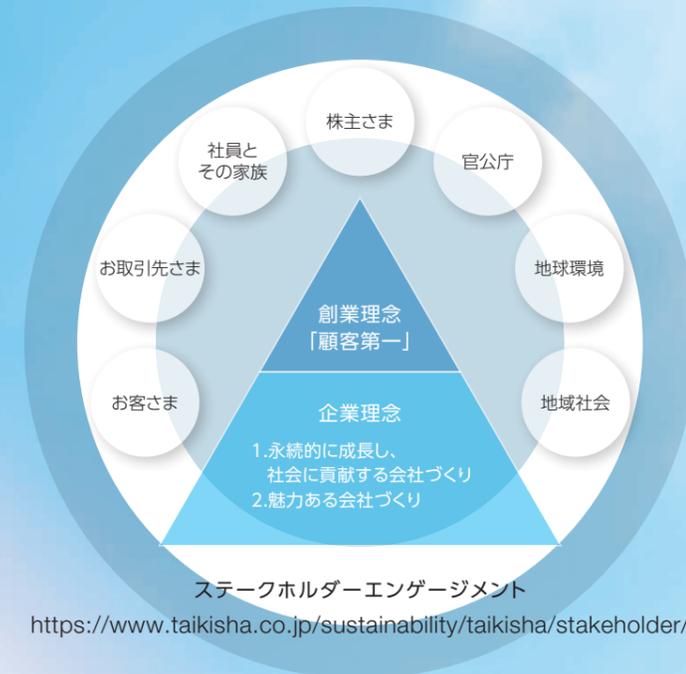
# 明日の空気をつくる。

明日の空気をつくる。

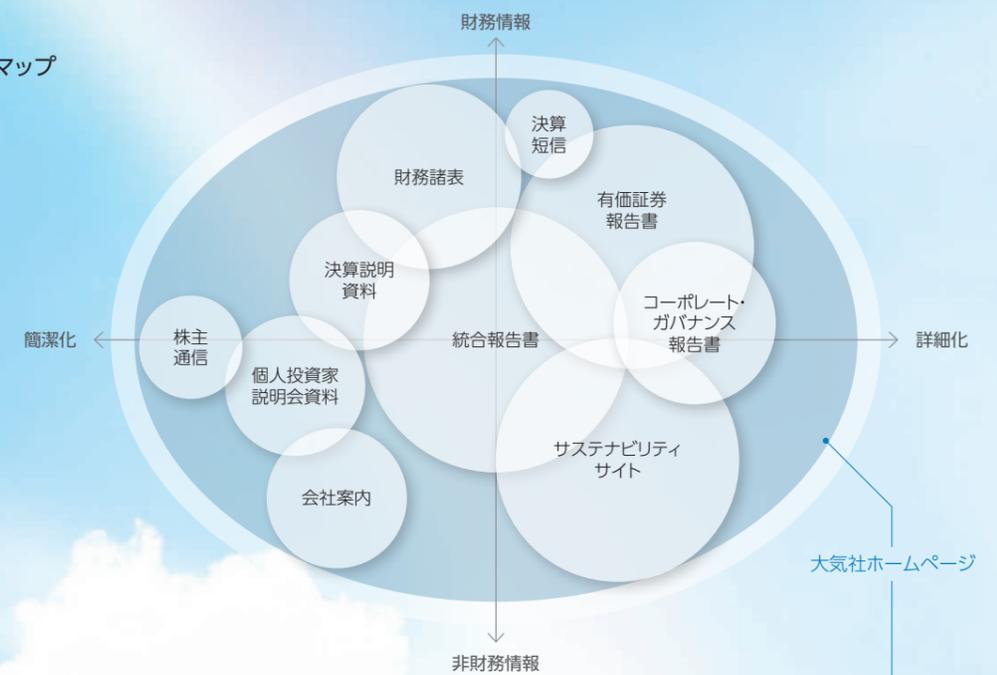
大気社は社会全般を顧客と考えて、全てのお客さまの幸せを願って、  
今日も快適な環境をつくり出しています。

人がいるところ、空気があるところ、あらゆる場所が私たちの活躍の場です。  
一人でも多くの人の役に立ちたい。一つでも多くの場所を過ごしやすくしたい。  
そんな思いを日々、大切にしています。

## 大気社の理念体系



## ツールマップ



## ウェブサイトでの情報開示

### 投資家情報

<https://www.taikisha.co.jp/ir/>



### サステナビリティ

<https://www.taikisha.co.jp/sustainability/>





# Contents

## 02 大気社の理念体系

### イントロダクション

- 05 Business Overview
- 09 財務・非財務ハイライト
- 11 トップメッセージ

### 大気社のありたい姿

- 15 長期ビジョン
- 17 価値創造の歴史
- 19 価値創造プロセス
- 21 価値創造特集1 環境システム事業 R&Dサテライトが始動
- 23 価値創造特集2 塗装システム事業 カーボンニュートラルに貢献する自動車塗装システム
- 25 マテリアリティ

### 持続的成長を実現するための戦略

- 27 社外取締役座談会
- 35 中期経営計画の振り返りと概要
- 37 事業戦略：環境システム事業
- 39 事業戦略：塗装システム事業

## 成長を支えるESGマネジメント

- 41 ガバナンス：マネジメント体制
- 43 ガバナンス：コーポレート・ガバナンス
- 48 ガバナンス：リスクマネジメント
- 51 ガバナンス：コンプライアンス
- 53 ガバナンス：株主・投資家とのコミュニケーション
- 55 環境：TCFD提言に基づく気候関連情報の開示
- 59 環境：低炭素化への取り組み
- 63 人材：労働慣行

## 財務情報・会社情報

- 67 10年間の財務データ
- 69 連結財務諸表
- 72 会社情報・株主情報
- 73 第三者意見

## 読者の皆さまへ

大気社は、株主・投資家をはじめとする幅広いステークホルダーの皆さまに、当社の中長期視点での価値創造についてご理解を深めていただくため、2021年から統合報告書を発行しています。

2023年は新たな経営体制が発足したタイミングであるため、できるだけ経営トップの顔が見える形、肉声が伝わる形で、中期経営計画の着実な進捗とともに、長期ビジョン実現への道筋がお伝えできるよう工夫しました。また、人的資本をはじめとした非財務情報に関しては、トップコミットメントの中心テーマである「エンジニアリング力の強化」、「グローバル化」が浮き彫りとなるよう、内容の充実に努めました。

本報告書は、ステークホルダーの皆さまとの建設的対話につながるコミュニケーションツールとして位置づけしており、代表取締役社長をはじめとした経営陣が、積極的に制作に参画しております。また制作にあたっては、サステナビリティ推進担当役員が監修を行っています。

大気社は、これからも皆さまとの対話を通じて、統合報告書の改善・充実を図るとともに、社会への貢献と企業価値向上に努めてまいります。

## 編集方針

- 報告対象組織  
当社および国内外のグループ会社を対象としています。
- 報告対象期間  
2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の活動を中心に、一部前後の活動を含めて記載しています。
- 発行日  
2023年10月
- 次回発行予定  
2024年10月
- 参考にしたガイドライン  
環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」、「環境会計ガイドライン2005年版」、「生物多様性民間参画ガイドライン(2009年)」、GRI「サステナビリティ・レポート・スタンダード」、ISO26000、IIRC国際統合報告フレームワーク
- 制作  
株式会社大気社 統合報告書編集委員会
- 連絡先  
株式会社大気社 広報課 TEL.03-5338-5052(代)